

No		質問	回答
1	募集要領 P2,3	個別会及び合同会について、どの程度の頻度での開催を予定されているでしょうか。	個別会は月1回程度の開催、合同会は年3回程度の開催を予定しております。
2	募集要領 P9	プレゼン審査の実施はオンライン又は対面のいずれの方法で実施する予定でしょうか。また、プレゼン審査に参加できる人数に制限はあるでしょうか。加えて、プレゼン審査への参加者として、申請主体の他、事業委託予定先事業者等の参加などの参加は可能でしょうか。	プレゼン審査は、対面で実施いたします。 プレゼン参加人数は、3名を上限とします。 プレゼン審査には、申請主体の責任において参加人数の制限内で補足説明者を同席することは可能です。
3	募集要領 P4	「都市再生推進法人として指定を受けた（指定を受ける予定も含む）都内エリアマネジメント団体」について、将来的に指定を受けたいが、現在はエリマネ団体の構築が完了しており、法人化も進めて準備・検討を進めている段階の場合は「指定を受ける予定」に該当するか。 該当しない場合、「区市町村や独立行政法人等と連携」が認められる証憑として、「連携同意書」や「エリアマネジメント団体の名簿」などは該当するか。	「指定を受ける予定」は、プロジェクト期間内に指定を受ける必要があります。「連携同意書」と「エリアマネジメント団体の名簿」は、「区市町村や独立行政法人等と連携」の証明書類として、該当いたします。ただし、区市町村や独立行政法人等と連携し街づくりを推進していく事業主体であるかどうかを、提出頂いた証憑で判断します。
4	協定金説明書 P2	イベント開催時に有用なユースケースを検討しているところ、サービス利用人数の定義について、実装期間を通じた延べ利用人数と、イベント1回あたりの利用人数のどちらを想定しておりますでしょうか。	サービス利用人数は、当該プロジェクト期間におけるサービスの「実装期間を通じた延べ人数」とします。
5	協定金説明書 P2	現状複数のユースケースの実現を目指しており、それぞれのユースケースについて課題解決度が設定できるものと考えております。 KPI設定書における「実装サービスによる課題解決度」の枠は1つに設定されていますが、その枠内でユースケース数踏まえて複数のKPIを設定することが可能なのか、それともユースケースを選別のうえ1つのKPIに絞る必要があるのかご教示ください。	実装サービスが複数に及ぶ場合は、事業者の判断にて、複数のKPIを設定いただくことが可能です。